

## 『賀川豊彦著作選集全5巻』完結記念神戸集会 ご案内

神戸が生んだ日本を代表する社会活動家で生協生みの親でもある賀川豊彦は、日本初のノーベル賞候補者となり、戦前戦後の一時期、世界3大偉人の一人として「ドイツのシュバイツァー、インドのガンジー、日本の賀川」と併称された世界的な著名人でもありました。

賀川はキリスト教牧師、教育者、労働運動、農業運動などの社会活動の傍ら、次々と多くの話題作を世に送り出した著名作家でもありました。中でも神戸新川を舞台にした処女作『死線を越えて』は日本出版史上空前の大ベストセラーとなり、社会現象を巻き起こし賀川を一躍、時の人に押し上げました。

賀川豊彦の膨大な著作は、1960年の彼の没後まもなく、日本キリスト新聞社により『賀川豊彦全集』（全24巻）として出版されましたが、以後はいくつかの復刻版以外は、現在まで殆ど賀川の著作を手にする機会はなくなり、賀川の名前は約半世紀の間に次第に忘れ去られつつある状態となっています。

今年度、賀川の代表作を網羅した『賀川豊彦著作選集全5巻』（アジア・ユーラシア総合研究所刊）の完結を記念し、下記の如く著作選集の編集者を講師にお迎えし、神戸集会が開催される運びとなりました。

賀川ゆかりの神戸の地で、賀川豊彦復権の狼煙をあげたいと期待しています。神戸及び近郊の皆様のご参集を歓迎いたします。

### — 記 —

日 時：2018年6月9日（土）午後2時 ～ 5時

会 場：賀川記念館4階 神戸市中央区吾妻通5-2-20 TEL078-221-3627

会 費：一般1000円、学生・子供 無料

#### プログラム

挨拶 青木俊一郎（神戸社会人大学学長）

兵庫県井戸敏三知事メッセージ（代読）

#### 記念講話

川西重忠（アジア・ユーラシア総合研究所所長、代表理事）

— 『賀川豊彦著作選集』発刊に込めた願い、賀川復権への期待  
西 義人（賀川記念館参事）

— 賀川豊彦生誕130年 賀川著作選集完結に思う  
鳥飼慶陽（番町出合いの家牧師）、

— 「死線を越えて我は行く —読書と人生」  
伴 武澄（萬晩報主宰、国際平和協会会長）

— 賀川豊彦全集の電子化を推進して 今私たちが賀川から  
学ぶこと

以上